

2018年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント、ロング・ディスタンス競技部門

要項 2.1

発行日：2018年5月17日（木）

発行者：2018年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント、ロング・ディスタンス競技部門実行委員会

発行責任者：細川 知希（実行委員長）

編集責任者：宮西 優太郎



はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第 2.1 項に定められた『スプリント競技部門』および『ロング・ディスタンス競技部門』を以下の通り実施します。

開催日

2018年 **9月14日**（金）～ **16日**（日）

- ◇ 9月14日（金）：モデルイベント
 - ◇ 9月15日（土）：スプリント競技部門
 - ◇ 9月16日（日）：ロング・ディスタンス競技部門
- ※ 9月17日（月）にアフターイベントを開催します。

開催地

長野県駒ヶ根市赤穂 駒ヶ根高原家族旅行村周辺

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2018年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント、ロング・ディスタンス競技部門実行委員会
（（有）ヤマカワオーエンタープライズおよび OLC ルーパーで構成）

| | スプリント競技部門 | ロング・ディスタンス競技部門 |
|-------------|---------------|----------------|
| 実行委員長 | 細川 知希（名古屋 10） | |
| 競技責任者 | 嶋岡 雅浩（名古屋 11） | |
| 運営責任者 | 菅谷 裕志（名古屋 08） | |
| コース設定者 | 谷川 友太（名古屋 06） | 松井 健哉（名古屋 07） |
| イベント・アドバイザー | 木村 佳司（山口 80） | |

※（出身大学・入学年度）

主管者へのお問い合わせ先 e-mail: icsl2018info@googlegroups.com

大会公式 Web サイト

URL: <http://orienteering.com/~icsl2018/index.html>

略称

本要項では、以下の略称を使用することがあります。

| 略称 | 正式名称 |
|------|----------------------|
| 実施規則 | 日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 |
| 日本学連 | 日本学生オリエンテーリング連盟 |

1. 競技情報

競技形式 / 地図仕様

| | 競技形式 | 地図仕様 | | | |
|--------------|---------------------------|-------------------|-----------|-----------|--------------|
| | | 縮尺 | 等高線 間隔 | 走行 可能度 | 地図図式 |
| 9月15日 (土) | スプリント競技部門 (選手権・一般の部共通) | 1:4,000 | 2 m | 4 段階表示 | JSSOM2007 準拠 |
| 9月16日 (日) | ロング・ ディスタンス 競技部門 | 選手権の部 1:15,000 | 5 m | 5 段階表示 | ISOM2017 準拠 |
| | 一般の部 | 1:10,000 | 5 m | 5 段階表示 | ISOM2017 準拠 |

パンチングシステム

スプリント競技部門選手権の部では、SPORTident 社の電子パンチングシステム (SI) を使用します。選手権の部では参加者全員が実行委員会で貸し出す SI カードを使用します。

スプリント競技部門一般の部、およびロング・ディスタンス競技部門では、Emit 社の電子パンチングシステム (Electronic Punching and Timing system) を使用します。E カードは貸し出しを行いますが、個人所有の E カードを使用することもできます。

トレイン概要

スプリント競技部門

今大会のトレインは駒ヶ根高原大会 2013 で使用された「アルプスの丘 2013」をリメイクしたものである。競技エリアとして木曾山脈東麓に位置する駒ヶ根高原家族旅行村とその周辺を利用する。競技エリア内には旅行村の様々な施設や整備された林が存在する。

ロング・ディスタンス競技部門

今大会のトレインは山川メモリアルオリエンテーリングクラブ 7 人リレー 2016 で使用された「駒ヶ根高原 2016」をリメイクしたものである。競技エリアは木曾山脈東麓の標高 750~1050m 付近に位置する。競技エリア内には扇状地のため地形的特徴が少ないエリアや急峻な尾根沢からなるエリアが存在する。全体として走行可能度は高いものの一部著しく走行可能度が悪化するエリアが存在する。

立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル含む）は、要項 1 発行日から本大会終了までの期間、以下の区域への、オリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（当該区域使用下でのモデルイベント時、競技参加時を除く）。各競技の立入禁止区域の詳細は次ページ以降に示す地図をご覧ください。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

スプリント競技部門

次ページ以降に示す地図部分立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

クローズトレイン

「アルプスの丘」 2006 年作成、2010 年 2013 年改訂

（有）ヤマカワオーエンタープライズ作成

ロング・ディスタンス競技部門

次ページ以降に示す地図部分立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

クローズトレイン

「駒ヶ根高原」 2016 年改訂 （有）ヤマカワオーエンタープライズ作成

モデルイベント

ロング・ディスタンス競技部門のモデルイベントを 9 月 14 日（金）午後を開催します。

スプリント競技部門のモデルイベントは行いません。

トレーニングコース

本大会ではトレーニングコースは指定しません。

ドーピング検査

本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本競技会参加者は、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。

ドーピング検査の対象となった競技者は、役員の指示に従って検査を受ける必要があります。

なお、本人確認のため、運転免許証、学生証等、写真により本人確認が出来る物を持参してください。

また、ドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、または帰路の移動等の個人的な事情によりドーピング検査手続きを完了する事ができなかった場合は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁を受ける事になりますのでご注意ください。

競技会場内外を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要ですので、その点もご留意をお願いします。

ドーピング検査に関する情報や日本アンチ・ドーピング規程の詳細については、以下の Web サイトをご覧ください。

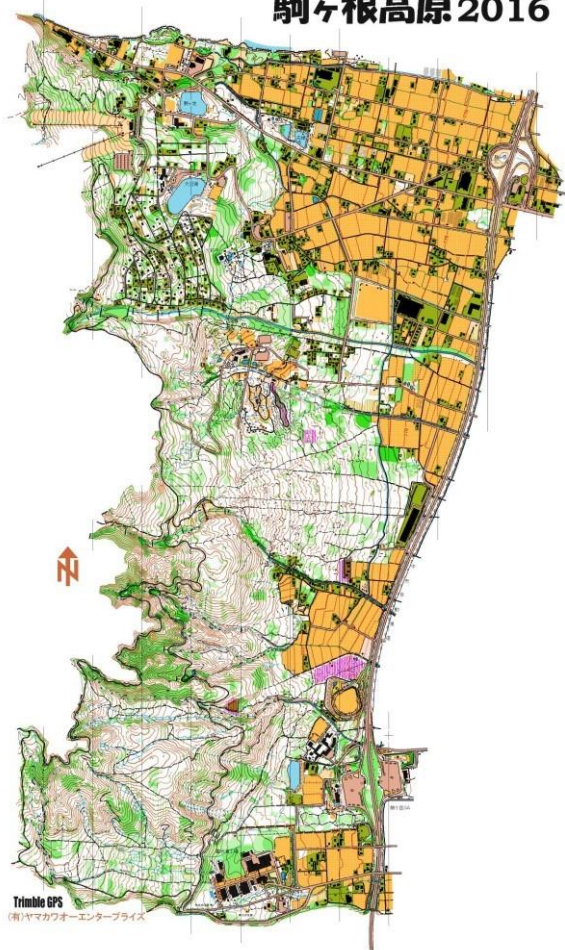
- ドーピングに関する情報 JOA アンチ・ドーピング委員会 Web サイト
URL: <http://www.orienteering.or.jp/AD/>
- 日本アンチ・ドーピング規定の詳細 JADA の Web サイト
URL: <http://www.playtruejapan.org/>

➤ **スプリント競技部門立入禁止区域**



➤ ロング・ディスタンス競技部門立入禁止区域

駒ヶ根高原2016



2. クラスと参加資格

9月15日(土) スプリント競技部門

選手権の部

◆ スプリント / 選手権 クラス情報

| クラス | 優勝設定時間 (予定) |
|------------|-------------|
| 男子選手権 (ME) | 15分 |
| 女子選手権 (WE) | 15分 |

男子選手権、および女子選手権の優勝者をスプリント競技選手権者とします。

◆ スプリント / 選手権 参加資格

以下の2点をともに満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・ 実施規則第4.1項の規定（学連加盟員であること・学連登録年度4年以内・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満）を満たすこと。
- ・ 地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること（各枠の詳細は以下の通り）。

<地区学連枠>

各地区学連の競技者数配分人数を以下に示します。なお、競技者の選出方法は、各地区学連で定められています。

| クラス | 地区学連 | | | | | | 合計 |
|-------|------|----|-----|----|----|-----|----|
| | 北東 | 関東 | 北信越 | 東海 | 関西 | 中九四 | |
| 男子選手権 | 10 | 28 | 5 | 10 | 5 | 2 | 60 |
| 女子選手権 | 4 | 16 | 1 | 4 | 4 | 1 | 30 |

<前年度個人実績枠>

昨年度入賞者である以下の者は、上記の地区学連枠とは別に、選手権の部の出場資格を得ます。

| クラス | 氏名（大学と学連登録年度） | | |
|-------|---------------|--------------|--------------|
| 男子選手権 | 種市 雅也（東京 3） | 大橋 陽樹（東京 3） | 稲森 剛（横浜国立 4） |
| 女子選手権 | 佐野 萌子（京都女子 4） | 増澤 すず（筑波 3） | 勝山 佳恵（茨城 4） |
| | 宮本 和奏（筑波 2） | 伊部 琴美（名古屋 2） | 伊東 加織（東北 3） |

記載内容は、日本学連技術委員会が発表した「2018 年度インカレスプリント競技者配分について」（2017 年 12 月 9 日付）に基づきます。以上の者全員がエントリーした場合、総競技者数は男子 63 名、女子 36 名となります。

一般の部

◆ スプリント/一般 クラス情報

| クラス | 対象 | 参加資格 | 優勝設定時間（予定） |
|-----|-------|------------------|------------|
| MUA | 男子上級者 | 日本学連登録 2 年目以上の男子 | 15 分 |
| MUF | 男子新人 | 日本学連登録初年度の男子 | 15 分 |
| WUA | 女子上級者 | 日本学連登録 2 年目以上の女子 | 15 分 |
| WUF | 女子新人 | 日本学連登録初年度の女子 | 15 分 |

- ・ 申し込み多数のクラスについては、参加者数に応じて複数のクラスに分割する可能性があります。
- ・ 表彰対象は、最初に日本学連登録をした年度から数えて 4 年目以内の者に限り（全てのクラスが山川杯の対象となります）。

◆ スプリント/一般 参加資格

選手登録名簿提出時から大会開催時の期間において日本学連加盟員であることです。

注意事項

使用するシューズに制限はありません。

9月16日(日) ロング・ディスタンス競技部門

選手権の部

◆ ロング / 選手権 クラス情報

| クラス | 優勝設定時間(予定) |
|-----------|------------|
| 男子選手権(ME) | 80分 |
| 女子選手権(WE) | 65分 |

男子選手権、および女子選手権の優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者とします。

◆ ロング / 選手権 参加資格

以下の2点をともに満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・ 実施規則第4.1項の規定(学連加盟員であること・学連登録年度4年以内・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満)を満たすこと。
- ・ 地区学連枠、前年度個人実績枠、もしくは全日本大会21Eクラス出場資格者セシ免除枠による出場資格を持っていること(各枠の詳細は以下の通り)。

<地区学連枠>

各地区学連の競技者数配分人数を以下に示します。なお、競技者の選出方法は、各地区学連で定められています。

| クラス | 地区学連 | | | | | | 合計 |
|-------|------|----|-----|----|----|-----|----|
| | 北東 | 関東 | 北信越 | 東海 | 関西 | 中九四 | |
| 男子選手権 | 7 | 32 | 2 | 5 | 12 | 2 | 60 |
| 女子選手権 | 7 | 9 | 4 | 3 | 6 | 1 | 30 |

<前年度個人実績枠>

昨年度入賞者である以下の者は、上記の地区学連枠とは別に、選手権の部の出場資格を得ます。

| クラス | 氏名(大学と学連登録年度) | | |
|-------|---------------|------------|-------------|
| 男子選手権 | 稲森 剛(横浜国立4) | 種市 雅也(東京3) | 宮本 樹(東京4) |
| 女子選手権 | 勝山 佳恵(茨城4) | 増澤 すず(筑波3) | 臼井 沙耶香(東北4) |
| | 宮本 和奏(筑波2) | 出田 涼子(大阪3) | — |

<全日本大会における特別枠>

第 44 回全日本大会の M21E クラスまたは W21E クラス出場資格を持つ者は、上記の地区学連枠とは別に、選手権の部の出場資格を得ます。

| クラス | 氏名（大学と学連登録年度） | | |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 男子選手権 | 伊藤 樹（横浜国立 4） | 岩井 龍之介（京都 3） | 上島 浩平（慶応義塾 4） |
| | 佐藤 遼平（東京 4） | 柴沼 健（早稲田 4） | 田中 創（大阪 4） |
| | 伴 広禪（京都 4） | 横山 裕晃（東北 4） | — |
| 女子選手権 | 伊佐野 はる香（東北 4） | 佐野 萌子（京都女子 4） | 高橋 ひなの（東北 4） |
| | 高橋 友理奈（東北 4） | 山岸 夏希（筑波 4） | — |

記載内容は、日本学連技術委員会が発表した「2018 年度インカレロング・ディスタンス競技者配分について」（2018 年 6 月 13 日付）に基づきます。以上の者全員がエントリーした場合、総競技者数は男子 71 名、女子 40 名となります。

一般の部

◆ ロング / 一般 クラス情報

| クラス | 対象 | 参加資格 | 優勝設定時間（予定） |
|-----|-------|------------------|------------|
| MUL | 男子上級者 | 日本学連登録 2 年目以上の男子 | 50 分 |
| MUS | 男子中級者 | 日本学連登録 2 年目以上の男子 | 40 分 |
| MUF | 男子新人 | 日本学連登録初年度の男子 | 40 分 |
| WUL | 女子上級者 | 日本学連登録 2 年目以上の女子 | 50 分 |
| WUS | 女子中級者 | 日本学連登録 2 年目以上の女子 | 40 分 |
| WUF | 女子新人 | 日本学連登録初年度の女子 | 30 分 |

- ・ 申し込み多数のクラスについては、参加者数に応じて複数のクラスに分割する可能性があります。
- ・ 表彰対象は、最初に日本学連登録をした年度から数えて 4 年目以内の者に限ります。

◆ ロング / 一般 参加資格

選手登録名簿提出時から大会開催時の期間において日本学連加盟員であることです。

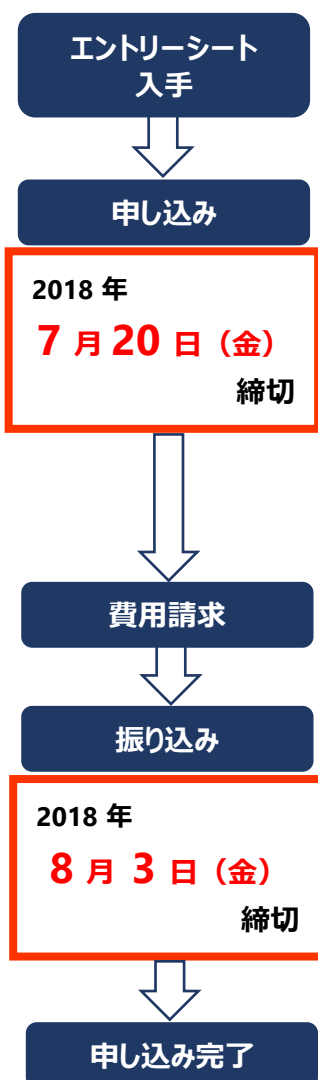
チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。チームオフィシャルは、スプリントおよびロング・ディスタンス両競技部門の選手権の部スタート地区において、選手のサポートをできます。チームオフィシャルはスプリントおよびロング・ディスタンス両競技部門で共通とします。各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- ・ 男子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
- ・ 女子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
(合計最大 4 名まで登録可能)

3. 参加申し込み

申し込みの流れ



各校担当者は、公式 Web サイトから、エントリーシート（Excel ファイル、後日公開）をダウンロードしてください。

各校担当者は、必要事項を記入したエントリーシートを e-mail に添付し、以下の申し込み先に提出してください。

申し込み用エントリーシート送付先

icsl2018entry@gmail.com（エントリー担当：宮西）

※申し込み締め切り日までに学連登録を済ませている必要があります。特に、学連登録初年度の選手の手続きに遅れが出ないようにご注意ください。

主催者より各校担当者へ、e-mail で参加費を請求します。

各校担当者は、参加費を以下指定の銀行口座に振り込んでください。なお、振込手数料は各校の負担とします。

参加費振り込み先

みずほ銀行 仙台支店（店番号：723）

普通預金 口座番号：1038263

口座名義：宮西 優太郎

ミヤニシ ユウタロウ

申し込み内容の変更

- ・ E カード番号の変更や追加貸し出しは原則として受け付けませんが、申請していた E カードの破損等やむを得ない場合に限り、事前に主管者にお問い合わせください。
- ・ 選手権の部の選手変更は、大会前日の 16 時まで受け付けいたします。詳細は要項 3（後日発行）をご確認ください。
- ・ 欠席の場合、連絡は必要ありません。欠席時の参加費の返金はありません。
- ・ その他の項目については原則として一切の変更ができないため、十分注意してください。特別の事情が生じた場合のみ、主管者にお問い合わせください。

参加費

| 項目 | 金額 |
|---------------------------|---------------|
| スプリント競技部門参加費 | 選手権の部 4,000 円 |
| | 一般の部 3,000 円 |
| ロング・ディスタンス競技部門参加費 | 選手権の部 6,000 円 |
| | 一般の部 5,000 円 |
| モデルイベント参加費 | 1,000 円 |
| チームオフィシャル参加費（一人当たり[2 日間]） | 5,000 円 |
| E カード貸し出し（1 日当たり） | 300 円 |

- ・ スプリント競技部門選手権の部の参加費には、SI カード貸し出し料が含まれています。
- ・ 報告書は、大会公式 Web サイトでの公開のみとします。冊子の配布は行いません。

4. 宿泊・交通・弁当

宿泊

本大会では実行委員会で宿泊施設の斡旋を行いません。宿泊を希望する場合は、各大学で宿泊施設の予約をお願いします。ただし、宿泊施設としての家族旅行村のキャンプ場・ケビン村、および駒ヶ根ユースホステルの利用は禁止します。

バス輸送・参加者駐車場

本大会では、JR 駒ヶ根駅から会場までの大会専用バスを運行する予定です。乗車人数の把握のため、各大学の担当者は 6/30（土）までに以下のアンケートへのご回答をお願い致します。

バス輸送アンケート

URL: <https://docs.google.com/forms/d/1TH4arNcWW3uq1lwh5W9IzFe-n7qI73JZorpR94Pt2-M/edit>
Google フォームに従い入力してください。

参加者駐車場についての詳細は後日発行の要項 3 にて公開します。

弁当

本大会では実行委員会で弁当の手配は行いません。

5. 観戦・併設大会・アフターイベント

観戦

本大会の観戦は自由とします。観戦者の来場方法は、本大会参加者と同様です。プログラム（後日発行）に従って観戦してください。なお、スプリントおよびロング・ディスタンス競技部門それぞれの選手権の部に参加する選手は、出走前の観戦が制限されます。

併設大会

日本学連加盟員以外の方を対象とした併設大会の開催を予定しています。詳細は後日発行する当該大会の要項をご確認ください。

アフターイベント

9月17日（月）に本大会と同テレインにてアフターイベントを開催します。詳細は後日公開いたします。

以上